

第3回

菊川市こども・若者参画協議会

まとめ

## 宣言実現に向けた取組案の整理（コスト×時間）

▲ お金がかかる

【左上】 お金がかかる × すぐできる

- フリーWiFi整備
- ごみ箱の設置
- 高校への目安箱設置（きくるにも設置）
- コミュニティバスの活用

【右上】 お金がかかる × 時間が掛かる

- 交通利便性の向上（バスの本数増加等）
- 勉強・交流の場の新設（きくる2号館）
- 障害がある方も楽しめるスペースづくり
- 安心していただける居場所づくり

◀ すぐできる

時間が掛かる ▶

【左下】 お金がかからない × すぐできる

- アンケートの実施
- 高校のインスタでの情報発信
- SNSに早めに情報を出す（企画段階から）
- 活動や団体情報を学年集会等で周知

【右下】 お金がかからない × 時間が掛かる

- 学校・市・地域の連携強化
- こえのもりしずおかを活用した意見聴取
- 若者が発言できる機会を増やす → 参画へ
- 色々な世代が参加できるイベントの複合化・大規模化

▼ お金がかからない

## 右上象限 | お金がかかる × 時間が掛かる

多くのリソース（予算・時間）を要する、中長期的・抜本的な取組案（9項目）

---

原発に代わる産業

頑張る場だけでなくくつろげる場（温泉とか）

高校進学率向上

朝活  
（視覚障害のため人通りが少ない朝早くに活動）

障害がある方も楽しめるスペースづくり

壁をなくす、交流の場をつくる

交通利便性の向上（バスの本数増加等）

安心していられる居場所づくり

勉強・交流の場の新設。きくる2号館

## 右下象限 | お金がかからない × 時間が掛かる

予算は抑えられるが、時間や関係構築を要する取組案（17項目）

高齢者向け・若者参画協議会をテレビで

大人が面白そうにしている

魅力的な団体をつくる

学校、市、地域が連携する

学生や若者の解像度を上げる

意欲ある子どもたちの受け皿が足りない（場所・団体等）

情報発信、日本語の勉強

中長期的な大目標を決める

こえのもりしずおかを活用した意見聴取

若者が地域で活動する時間を増やす

お互いが安全に交流できる場

参加から提案する立場へ

多世代の気持ちを考えリンクさせる

若者が地域でやりたいことを応援する土壌をつくる

まちづくりに参加している若者からの情報発信

色んな世代の人が参加できるイベントをやる（イベントの複合化・大規模化）

若者が発言できる機会を増やす → 参画へ

## 左下象限 | お金がかからない × すぐできる

予算をかけずにすぐ着手できる、アイデアベースの身近な取組案（26項目）

大人の当たり前を教えてくれる→新しい楽しみ、アイデア

旧小笠地区に集まれる場を

市役所職員総入替

社会科や歴史の授業でまちの歴史を地域の大人が教える

アンケートの実施

こども若者の活動相談窓口

勉強できる場を増やす

子ども同士の関わりを作る（高・大学生が小中学生と交流する会等）

会議に出る人を毎回変える（色々な人に出てもらう）

自然体験の場

小中学生が企業の大人・社会の大人と関わる機会を

SNSに早目に情報を出す（企画段階から）

会議に参加する人を変える

若者と地域の人の交流や対話の機会を設ける

菊川の良さ(若者の地域での活動を市民・若者が知る

ユースカウンシルの設置（若者議会による政策提言及び実現）

高校のインスタでの情報発信

こえのもりしずおかを使ってみる機会を設ける

外国籍の学校と日本の学校の交流をより活発に

こども若者参画協議会の存在や活動を委員が広める

会議や担当課ではなく、市長へ直接伝える場の設定

社会と繋がる授業

勉強やためになる企画

活動や団体情報を学年集会等で周知

日本語を学びたい子供の居場所づくり

高齢者の流行を発信

## 左上象限 | お金がかかる × すぐできる

予算は必要だが、比較的早期に実現可能な設備投資・仕掛け案（12項目）

フリーWiFi整備

目につくような団体紹介

駅にプリクラ機を設置

コミュニティバスの利用促進

ごみ箱の設置

コミュニティバスの活用

（コミュバス）デザインによる乗りづらさの解消

小学校、中学校、高校向け  
学校へ行っての活動紹介

高校への目安箱設置（きくるにも置く）

高校・大学向け  
ネットやSNSでの活動紹介

提案する人と実行する人が直接話す機会をつくる

まちの健康